

# 芙蓉会



社会福祉法人 芙 蓉 会

<http://www.fuyoukai.org>

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地 TEL 〈0545〉 55-1118 FAX 〈0545〉 55-1119

児童養護施設 ひまわり園	0545-52-0402	通所介護 デイサービスセンターみぎわ園	0545-55-1800
地域小規模児童養護施設 ひろみ園	0545-22-1281	通所介護 ふようデイサービスセンター	0545-52-1397
乳児院 恩賜記念みどり園	0545-53-5665	居宅介護支援事業 ふよう居宅介護支援事業所	0545-52-5500
企業主導型保育施設 さくら保育園	0545-55-1118	地域包括支援センター 富士市吉原西部地域包括支援センター	0545-30-8324
特別養護老人ホーム みぎわ園	0545-55-1800	在宅介護支援センター みぎわ園	0545-55-1811
ショートステイ みぎわ園	0545-55-1877	看護小規模多機能 みぎわの里	0545-30-7952



# 社会福祉法人芙蓉会創立118周年に際して

社会福祉法人芙蓉会理事  
日本基督教団吉原教会牧師 芳賀 正治

社会福祉法人芙蓉会は明治36(1903)年6月10日に、「富士育児院」として創始。そもそも渡辺代吉氏が横浜に出てキリスト教に入信しています。間もなく、郷里に帰り吉原町137番地に空き家を借りて育児院を始め、初代院長になります。即ち、身体障害者や精神薄弱児(当時の呼称)を保護しました。

そのときの理念が、「隣人を自分のように愛しなさい。」(ルカ福音書10:27)という聖書の教えでした。ちなみに、同施設は静岡県下でも最も古い福祉施設の一つです。

その後、島田村依田原に院舎を建設して、収容人数も増加し、養老部門も併設します。昭和2(1927)年には東北学院神学部在学中の戸巻俊一氏が、伝道者になる道を断念して、この事業を助けています。やがて、渡辺夫妻が逝去すると、昭和

6(1931)年に戸巻俊一氏が第3代院長になり、戦前戦中の困難な時代に事業を引き継いでいます。

昭和31(1956)年には突如、火災が発生し、これを機に「芙蓉会」と名称を改め、現在の今泉2220番地に移転しています。昭和58(1983)年に第3代院長が逝去。その後戸巻美夫氏が平成31(2019)年まで理事長を務めます。

今年は社会福祉法人芙蓉会創立118周年です。時代はコロナ禍の中にありますが、益々の事業の充実を願って止みません。最後に、内藤好彦現理事長はじめ、全職員と利用者さん方に神の祝福をお祈りします。

(参考資料:「芙蓉会118年の歩み」)

## ★みぎわ園★



祝100歳!

羽鳥とし様100歳のお祝いがありました。お嬢様たちとお会いする事が出来て嬉そうでした。おめでとうございます!



### ホットケーキ&クレープ作り!

トッピングに凝ってみました。皆さん美味しいぞうに召し上がって下さいました。

ホウホウ!



### 焼き芋大会!

入居者様がホイルに巻いたさつまいもを中庭で焼いてくれました。蜜が凝縮された甘いさつまいもを皆で美味しく頂きました。

## ★みぎわショートステイ★

### お花見ドライブ

今年は例年より暖かかったのか、桜も早めの開花でした。おやつを持って広見公園など市内の桜を巡るお花見ドライブを行いました。みなさん、綺麗な桜を眺めながら花も団子も楽しんでいました。



### 牡丹餅づくり

春のお彼岸といえば牡丹餅、という事で皆様で牡丹餅づくりを行いました。それぞれのご家庭の作り方があるようで、うちではこうだったよ、と会話も弾みながら楽しまれていました。



### 壁面制作

レクリエーション活動の一環として、壁面などの制作を行っています。最初は「できるかな?」と不安そうな方もコツをつかむと驚くほど集中されていました。





## ★ひまわり園★



ひまわり園には生活を良くしていく為に代表の子どもたちが意見を出し、考えを表明する「ひまわりの種」(通称:種会)があります。小学生の種会では、子どもたちが種会以外の子どもたちに喜んでもらえる事をしたいと、幼稚から小学生を対象として読み聞かせを行いました。喜んでもらうために気持ちを込めて読んだり、前に出て登場人物になりきり動いたりと工夫する姿が見られました。



早く大きくなりたいなあー

ひまわりの種中高生の部から、動物を飼いたいという要望が出されました。検討の結果、子どもたちが大きくなても居てくれる長生きする動物を考え、ケツメリクガメを飼うことになりました。今は小さいですが、元気にごはんを食べて成長中です。きっと素敵なお名前をみんなが考えてくれるでしょう。



## ★ひろみ★



小学生の運動会、今年は実施されました。かなり縮小されていて、毎年楽しみにしているお弁当タイムがないのが、とても残念でしたが、子ども達は一生懸命、競技に取り組んでいました。

運動会で見る子どもは、家とはまた違った姿が見られて、必ず成長を感じさせてくれます。

この大変な状況下でも、そういう姿が少しでも見られたのは、良かったです。



## ★みどり園★



あったよ!

HAPPY EASTER!



### イースター

うさぎとたまごの絵にシールを貼って飾り付けした後、ボールプールの中からたまごを探すイースターハントという遊びをしました。みんな真剣に探し、見つけると「アッタヨ!」と大喜びでした。昼食は園庭でお花見をしながらお弁当を食べました。可愛いうさぎのおにぎりをたくさん食べていました!



おべんとう  
おいしー

### 子どもの日

トイレットペーパーの芯でスタンプ遊びをしました。丸やハートなど、色々な色や形の模様の付いた、素敵な鯉のぼりができました。その後は外に出て、子どもたちが自分でシールを貼って作った、傘袋鯉のぼりで遊びました。

昼食では、手作りの兜が乗ったおにぎりを、嬉しそうにほおばっていました。



きれいに  
できたよー

おなか  
いっぱいー

### 歯の衛生週間

6月のお楽しみ会のテーマは歯の衛生週間!最初に画用紙でライオンの顔を作りました。目、鼻、歯のパーツを一つずつ糊でつけました。みんな集中して作り、それぞれ個性的な顔になりました。ライオンの顔ができあがつたら、歯ブラシとコップを飾り付けして、自分で作ったライオンに歯磨きをしました。歯磨きの歌を歌ったり、「ゴシゴシ」と言ったりしながら丁寧に歯を磨いていました。

お昼ご飯はカタツムリのハヤシライス!「カタツムリだ~」と嬉しそうに食べていました。



ゴシゴシ  
するよー



カタツムリ  
だねー

## ★さくら保育園★

### 春の製作

月の製作は季節にちなんだものを作っています。年齢に合わせて内容を変えており、スタンピングやシール、クレヨンなどをを使います。年齢の高い子どもたちはのり貼りも始めました。子どもたちのかわいい手形・足形、一年後にはどれほど大きくなっているのでしょうか。



母の日  
大好きなお母さん  
に、母の日のプレゼ  
ント作りです。



### お花見

園庭の桜を見ながらみんなでお弁当を食べました。お天気も良く気持ちの良いお花見でした。



じょうずに  
かけたねー

# 令和2年度 社会福祉法人芙蓉会 事業報告

## 【法人本部】

令和2年度は日々、更新される新型コロナウイルス国内感染者数の増加、次々と発出される緊急事態宣言、連日繰り返される報道により職員の不安(利用者が感染したら、自分や家族が感染したら)や緊張感による疲弊が続いた一年でした。

当法人では、各施設の「新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル」に基づく対応が徹底され、今なお現状を維持できるのは、この困難を乗り越えて利用者を守り抜こうと奮闘している一人ひとりの職員の尽力がございました。また、内藤理事長より新型コロナウイルス感染予防対策(職員のマスク不足軽減を図るため)としてご寄附をいただきました。

今年は、当初予定しておりました法人全体行事を止む無く中止、若しくは施設単位での縮小となり、各研修等もWEB研修に変更せざるを得ませんでしたが、顧問弁護士を講師に招き「ハラスマントの予防を考える」をテーマにWEB研修を開催いたしました。更に日程調整を図り、昨年に続き外部講師(坂倉裕子氏)による新任職員研修「社会人の基本と仕事の考え方、人間関係の基本的心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び、施設運営基盤の強化と職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

## 【児童養護施設 ひまわり園】

令和2年3月初旬に新型コロナウイルス感染症の「緊急事態宣言」が発令され、3月から5月までの3ヶ月間、幼稚園や学校が臨時休校となり、子どもたちにも職員にも大きな負担をかけました。子どもたちに関しては「家族交流の中止」「外出の制限」「行事の中止」など、職員に関しては休園・休校に伴う24時間体制での児童対応、食事提供、感染症予防対策など非常に厳しい状況の中でのスタートとなりました。11月には子どもたちが通っている学校で感染者が出たことで、ひまわり園に入所している子ども1名が「濃厚接触者」に特定され、集団感染の恐怖と戦いながらの対応でした。富士市においては現段階では感染状況は落ち着いていますが、変異株による感染拡大など今後においても予断を許されません。

令和2年度は本体施設員75名に対して、暫定定員62名(令和元年度69名)で事業を開始しました。実人員としては、月平均48.5名(男子24.2名、女子24.3名)でした。ひろみは定員6名に対し、暫定定員4名でスタートし2月途中から5名になりました。厚生労働省は平成28年に児童福祉法を改正し、翌年8月末に発表された「新しい社会的養育ビジョン」の方針に則り、「在宅支援」「養子縁組・里親委託」を優先し、「施設入所」は最終手段としています。その影響を受けてか、静岡県内の児童養護施設入所児童は減少傾向にあり、ひまわり園においても入所児童は平成29年度以降大きく減少しています。また県内では施設の小規模化・地域分散化が進んでおり、地域小規模児童養護施設が令和2年度には新たに4カ所(合計8カ所)が創設されました。

ひまわり園は本体施設の規模が大きいため、小規模化・地域分散化を進めるための対策に苦悩しています。併せて平成8年に改築した本体施設の老朽化対応も課題として存在しています。令和2年度事業計画では外壁タイルの補修工事(18,000,000円)を予定していましたが、一部補修という工法に関する問題から一旦中止としました。改めて全面的な外壁補修見積を取り寄せたところ40,000,000円以上かかるということもあり自己資金では対応できないため他の老朽化対策と共に「次世代育成支援対策施設整備交付金」による補助金を得る大規模修繕の方向で対応を再検討することとしました。また、「ひろみ」の改築を検討するため設計料として予算を立てましたが建ぺい率と容積率が建築当時から変更されており現存建物と同等の広さを確保することが困難であることが判明したため、設計に關しても一旦中止しました。入所児童の減少に伴う事業費収入減少の中、施設整備費用の確保が年々厳しくなっていくことも懸念されるため、早急な計画策定が課題となります。ひまわり園の直接處遇職員の平均在職年数は約10年で、41.3%の職員が10年以上勤務しています。しかし一方で、若手人材確保の問題は好転の兆しが見えず苦慮しています。特に保育士不足は深刻で、3年後はユニットを1カ所閉鎖することになりました。

## 【地域小規模児童養護施設 ひろみ】(ひまわり園加算事業)

令和2年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:令和2年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

令和2年度は、中学生2名、高校生2名の4名でスタートとなりました。年度途中に小学生女子が入所しました。ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。また、出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

新型コロナウイルス感染症への対応については、法人や本園の規定に沿って、助言を得ながら、地域小規模施設として出来るうる対策を図り、感染予防に努めました。高校生2名につきましては、自立へ向けた支援として、社会的養護自立支援業務を活用し、東海道シグマの方によるセミナーを定期的に受講しました。進路をひかえていた特別支援学校に通う3年生に対しては、各関係機関と連携した支援を行い、本人が希望する企業から内定を頂き、就職自立しました。昨年度も地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の行事や活動はほとんど出来ませんでしたが、職員・子ども共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切にし、地域の方々と協力していく意識を持つよう努めました。

## 【企業主導型保育事業 さくら保育園】

法人の多様な就労形態に対応する就業環境(仕事と子育ての両立)を整え、職員の雇用の安定を図ることを目的に令和2年3月より開設いたしました。4月から2名の入園児とスタートしましたが、9月には中途採用の職員のお子さん、10月には育児休暇を終えた職員のお子さん、12月にも中途採用の職員のお子さんが姉妹で2名入園し、利用定員の6名での保育となりました。中途採用の職員の中には、企業内保育園の開設を知って就職を決めた方もおり、同じ法人内に子どもを預かる施設があり安心して働けるとの事でした。

入園児の内訳としては0歳児が4名、1歳児が2名となりました。来年度の5月には育児休暇中の職員のお子さんが入園予定の為、定員数を増やすことを検討しています。

また、現在常勤保育士2名、非常勤保育士1名と法人本部職員の保育補助をうけ、保育にあたっていましたが、保護者の就労形態に合わせた保育の延長等も考え、常勤保育士の新規採用を行いました。

## 【乳児院 恩賜記念みどり園】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症という未知なる感染症に対する対応に終始翻弄された年度でした。当園には陽性者も濃厚接触者にも該当する入所児・職員はおりませんでしたが、職員の配偶者が勤務する職場や、家族が通う幼稚園で陽性者が出て、家族がPCR検査を受けたため、その結果が出るまで該当職員には自宅待機してもらうなどの対応を行いました。

施設内に新型コロナウイルス感染者が出たことを想定した、汚染区・準備区・非汚染区の仕切りや、壁に表示を設置したり、社会的養護入所者環境改善事業補助金の交付を受けてオゾン燻蒸ができる空気清浄機や、除菌ゲートの導入などの整備が行われました。

今まで新型コロナウイルス感染者が出なかったのは、看護師や、感染症委員会の感染症対策への度重なる検証と見直しの成果と、職員や利用者、家族など関係者の我慢と努力、行政等からの支援の賜であり、一日も長くこの状態が維持できることを切に願っています。

令和2年度は暫定定員が26名に修正されて事業を実施しました。定員が2名増えましたが、保護単価が25名以上の施設として減額修正されました。また年度当初に3歳以上の年少児が8名在籍していました。在籍月数は43~57ヵ月(平均49ヵ月)で、発達の遅れや、障害があり措置変更が見つからない子や、措置変更への保護者の同意が難しい子ども達でしたので、より子ども達の発達状況に応じた養育環境の提供を目指し、5歳児1名を原田幼稚園の年中組に入園させました。また常勤の公認心理師を心理療法担当職員として配置し、フレイセラピーによる発達の遅れを取り戻すための支援や、小規模ケアの実践を通して、より多くの社会体験させるための手厚い養育環境の構築をすることと、3歳以上の年少児単価という、措置費が大幅に減額される状況や、人件費の増大という、相反する課題を抱えながらの運営を強いられた年でした。このため年度当初に予定していた人件費積立金2,000万円の取り崩しを行いました。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施をしながら、緊急の保護依頼を断ることなく受け入れましたが、年間の在籍児童数は6,942名、年間の充足率は定員換算で63%、暫定定員26名では73%、前年と比べて184名2.5%の減少でした。新規入所児童は前年より1名減の7名、一時保護児童は12名減の11名、延べ日数329日、前年の551日より222日減少し、一時保護児童の内4名は1週間以内に家庭復帰しています。3月末日の在籍児童数は措置児童17名のみで、一時保護児童はありませんでした。

退所児童は10名で平均在籍月数は3.7ヵ月(10~57ヵ月)でした。2名が家庭復帰し、7名が児童養護施設等への措置変更、残り1名は特別養子縁組み予定の里親委託でした。

富士市からのショーステイの依頼は、4件でした。内訳は、乳幼児3名と母子(子どもは小学生5年生)の緊急委託がありました。ショーステイの受け入れ延べ日数は16日(乳幼児)+2名(学童以上)となります。

職員の人材確保については、静岡県のこども未来局の依頼を受け、児童相談所等人材確保事業の一環である「静岡県の児童福祉のこと」という冊子への掲載や、県こども家庭課のホームページの人材確保コーナーで使用する動画撮影などにも協力した他、人材確保のため法人契約した「マイナビ」を通じたWEB就職フェアや、静岡県人材センター主催の「就職フェア」にも積極的に参加ましたが、残念ながら人材確保には繋がりませんでした。

また、新型コロナウイルス感染症に関する職員養成の園内研修・勉強会を看護師等が積極的に開催してくれたので、15企画延べ33回の研修会・勉強会が開催することができました。

## 【特別養護老人ホーム みぎわ園】

令和2年度の事業内容を報告するにあたり、年度当初より「新型コロナウイルス感染症」パンデミックの脅威に曝され戦々恐々とした1年であった事が実感あります。東京オリンピック・パラリンピック開催の延期、3度に亘る政府による「緊急事態宣言」の発令、医療提供状況の逼迫、地元病院でのクラスターの発生、隣県の状況とこれらとの対応には、気の休まらない状態と職員への行動制限と自粛の要請等を行いました。また、この期間市内全域でのの休校休園が相次ぎ、職員には業務欠勤の不安が広がりましたが、法人内ひまわり園、みどり園保育士の方々の協力と応援を戴き、職場に支障ない行動も取れました。この様な不自由な環境下でもこれに立ち向かう職員の誠意、知恵と工夫には「弱者を守る」とした介護姿勢とその責任行動に、頭が下がる思いであります。

面会の禁止制限、リモートで画面での対話・お便り・電話・写真など、ご家族の方々に安心を享受してもらう様な工夫で現在も乗り切っています。また各種イベントの中止を受けて、自前で出来る「福祉作品展」、3階地域交流室を使って恒例の運動会も各ユニット間を廊下、エレベーターと利用して「面と線」とした競技工夫で正面玄関を最終ゴール、恒例の敬老会も各担当者が工夫して、ユニット毎入居者全参加型での会として小規模に催しメイン行事を進めて来ました。

未だ感染終息が見えない中、この脅威に曝されながらも、1人として感染者もなく今に至っている状況に、職員の自覚と責任、ご家族の協力等改めて感謝する次第です。

介護サービス経営面については、特養部門は大きな変化もなく落ち着いた入居生活の提供で、定数98.0~99.0%平均79名強での入居者を以て稼働し、在宅部門では提供責任者と現場職員努力により、利用率の高い稼働ができます。特にふようディサービスに於ける稼働、ショーステイでの稼働については、他の事業所がコロナ感染予防での利用制限の中、行き場を失ったご利用の方々をケアマネ、ご家族、居宅事業所側との綿密な連携の下で受け入れを行い、避難的にも利便性を高めた結果がありました。

急務であった介護人材確保については、求人誌(DOMO NET)、職員間での口込み等により人材の補充が叶っています。

施設整備の面に於いては、設備の耐用年と劣化、介護ケア上の効率性を重視した設備投資を主に検討しての設備整備を図りました。

# 令和2年度 社会福祉法人芙蓉会 決算報告

## 法人単位資金収支計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	介護保険事業収入	762,784,000	761,429,137	1,354,863
	児童福祉事業収入	501,715,000	499,929,581	1,795,419
	保育事業収入	17,036,000	16,989,436	46,564
	その他の事業収入	1,028,000	1,025,000	3,000
	贈入金利子補助金収入	57,000	57,000	0
	経常費用贈付金収入	3,225,000	3,534,908	△ 309,908
	受取利息配当金収入	1,639,000	1,449,326	199,674
	その他の収入	7,903,000	7,671,433	231,567
	事業活動収入計(1)	1,295,987,000	1,292,085,821	3,901,179
	人件費支出	921,394,000	924,187,058	△ 2,793,058
支出	事業費支出	160,981,000	154,105,248	6,875,752
	事業費支出	101,165,000	99,172,658	1,992,342
	利用者負担料額	3,240,000	3,227,107	12,893
	支払利息支出	1,405,000	1,384,113	20,887
	その他の支出	5,749,000	5,881,445	△ 132,445
	事業活動支出計(2)	1,193,934,000	1,187,957,629	5,976,371
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	101,453,000	104,128,192	△ 2,675,192
	施設整備等補助金収入	17,943,000	19,791,800	△ 1,848,800
	固定資産売却収入	0	0	0
	施設整備等資金収入	7,200,000	7,200,000	
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	25,143,000	26,991,800	△ 1,848,800
	設備資金借入金償還支出	35,428,000	35,188,000	240,000
	施設資金借入金償還支出	42,383,000	39,357,246	3,035,754
	施設資金借入金支出し	684,000	684,288	△ 288
	施設整備等資金収支差額(5)	75,495,000	75,229,534	3,245,466
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 53,352,000	△ 48,237,373	△ 5,144,266
	長期貸付金収入	651,000	224,000	457,000
	積立資産販売収入	65,131,000	65,461,806	△ 350,806
	既存区分間繰入金収入	36,800,000	0	36,800,000
	その他の活動収入計(7)	112,182,000	65,685,806	46,496,194
その他の活動による収支	積立資産支出	71,099,590	66,612,520	4,486,180
	既存区分間繰入金支出	36,800,000	0	36,800,000
	サービス区分間繰入金支出	9,600,000	0	9,600,000
	その他の活動による支出	0	10,000	△ 10,000
	その他の活動による活動収出計(8)	117,499,000	66,622,820	50,876,180
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,317,000	△ 937,014	△ 4,379,986
	予備費支出(10)	870,000	0	209,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	42,584,000	△ 12,369,444	
	前期末支払資金残高(12)	238,544,129	259,544,129	0
	当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	302,129,129	△ 12,369,444	

## 法人単位事業活動計算書

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	介護保険事業収益	761,429,137	724,165,813
	児童福祉事業収益	499,929,581	483,466,306
	保育事業収益	16,939,436	10,000
	その他の事業収益	1,025,000	648,000
	経常経費削減金収益	3,534,908	2,051,389
	サービス活動収益計(1)	1,282,908,062	1,210,341,508
	人件費	929,071,796	870,023,074
	事業費	154,723,076	152,564,480
	事業費	99,172,658	116,826,843
	利用者負担料減額	3,227,107	2,538,518
サービス活動損失の部	減価償却費	80,998,137	89,587,871
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 40,748,764	△ 47,911,886
	サービス活動費用計(2)	1,236,444,010	1,182,628,900
	サービス活動運営収益(3)=(1)-(2)	56,464,052	27,712,598
	借入金利子補助金収益	57,000	76,000
	受取利息支当金収益	1,449,326	1,358,381
	その他のサービス活動外収益	7,671,433	14,451,408
	サービス活動外収益計(4)	9,177,759	15,885,789
	支払利息	1,384,113	1,659,309
	その他のサービス活動外費用	5,881,445	6,511,135
サービス活動外増減額の部	サービス活動外費用計(5)	7,265,558	8,170,444
	サービス活動外増減額(6)=(4)-(5)	1,912,201	7,715,345
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	58,376,253	35,427,953
	施設整備等補助金収益	19,791,800	15,299,000
	施設整備等補助金収益	0	3
	その他の特別収益	972,941	358,534
	特別収益計(8)	20,764,741	15,567,537
	固定資産売却損	9,211	555,192
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	△ 131,006
	国庫補助金等特別積立金積立額	19,791,800	15,209,000
特別損益の部	特別費用計(9)	19,801,011	15,633,186
	特別減損差額(10)=(8)-(9)	963,730	△ 65,649
	当期活動減損額(11)=(7)+(10)	55,339,983	35,362,304
	前期繰越活動減損額差額(12)	625,606,201	565,953,107
	当期末繰越活動減損額差額(13)=(11)+(12)	684,946,184	601,315,411
	基本金取崩額(14)	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	64,005,406	66,805,406
	その他の積立金積立額(16)	64,418,620	42,514,616
	次期繰越活動減損額差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	684,532,970	625,606,201
	△ 58,926,769		

## 法人単位貸借対照表

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

資産の部	負債の部
科 目	当年度末 前年度末 増 減
流动資産	238,544,129 228,229,847 △ 10,315,282
現金預金	211,994,285 211,918,651 △ 75,634
事業未収金	132,387,100 110,785,575 △ 16,601,525
未収金	2,638,095 735,505 1,902,590
未収補助金	6,462,678 3,164,082 3,298,596
立替金	7,920 353,470 △ 345,550
前払費用	75,080 1,152,564 △ 1,077,484
1年内に因る預り金	120,000 120,000 0
固定資産	2,275,645,117 2,316,486,030 △ 40,840,913
蔵本財産	1,647,268,889 1,703,661,815 △ 55,392,926
土地	457,412,898 457,412,998 0
建物	1,189,855,991 1,246,248,917 △ 56,392,926
その他の固定資産	628,376,228 612,824,215 15,552,013
土壟	70,300,166 70,300,166 0
建物	6,156,942 6,860,134 △ 703,152
道作	6,325,665 7,003,702 △ 678,037
構築物	13,374,577 11,681,855 1,692,722
機械及び装置	11,651,789 13,240,327 △ 1,588,538
車輛運搬具	8,445,260 2,699,399 5,743,861
器具及び備品	33,443,741 23,485,652 9,960,089
有形リース資産	2,052,864 2,737,152 △ 684,288
権利	1,523,464 0 1,523,464
ソフトウェア	1,286,594 1,809,848 △ 523,254
投資有価証券	50,000 50,000 0
長期預付金	3,251,000 3,475,000 △ 224,000
退職給付引当資産	18,589,858 17,362,058 1,227,800
人件費積立資産	102,500,000 118,500,000 △ 16,000,000
施設整備等積立資産	211,000,000 209,000,000 11,000,000
雇用運営費積立資産	82,502,145 77,505,551 4,996,594
横浜元子育立積立資産	47,303,130 46,886,510 416,620
記念事業積立資産	1,000,000 1,000,000 0
普通預金	4,983,585 4,983,585 0
差入保証金	180,000 170,000 10,000
長期前払費用	2,457,448 3,075,276 △ 611,828
資産の部合計	2,629,330,275 2,644,715,877 △ 15,385,602
負債及び純資産の部合計	2,327,198,944 2,288,815,925 38,383,019

## 財産目録

(自)令和2年4月1日 (至)令和3年3月31日

(単位:円)

資産の目録	運用の目録	取得の目録	使用の目録	廃棄の目録	調査の目録
収益	介護保険事業収益	761,429,137	724,165,813	37,263,324	
	児童福祉事業収益	499,929,581	483,466,306	16,463,275	
	保育事業収益	16,939,436	10,000	16,979,436	
	その他の事業収益	1,025,000	648,000	377,000	
	経常経費削減金収益	3,534,908	2,051,389	1,483,519	
	サービス活動収益計(1)	1,282,908,062	1,210,341,508	72,566,554	
	人件費	929,071,796	870,023,074	59,048,722	
	事業費	154,723,076	152,564,480	2,158,596	
	事業費	99,172,658	116,826,843	16,654,185	
	利用者負担料減額	3,227,107	2,538,518	688,589	
サービス活動損失の部	減価償却費	80,998,137	89,587,871	△ 8,589,734	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 40,748,764	△ 47,911,886	7,163,122	
	サービス活動外収益計(4)	1,236,444,010	1,182,628,900	43,815,110	
	サービス活動外費用計(5)	56,464,052	27,712,598	28,751,444	
	借入金利子補助金収益	57,000	76,000	△ 19,000	
	受取利息支当金収益	1,449,326	1,358,381	90,945	
	その他のサービス活動外収益	7,671,433	14,451,408	△ 6,779,975	
	サービス活動外収益計(4)	9,177,759	15,885,789	△ 6,708,030	
	支払利息	1,384,113	1,659,309	△ 275,196	
	その他のサービス活動外費用	5,881,445	6,511,135	△ 629,690	
サービス活動外増減額の部	サービス活動外費用計(5)	7,265,558	8,170,444	△ 904,886	
	借入金利子補助金収益	57,000	76,000	△ 19,000	
	受取利息支当金収益	1,449,326	1,358,381	90,945	
	その他のサービス活動外収益	7,671,433	14,451,408	△ 6,779,975	
	サービス活動外収益計(4)	9,177,759	15,885,789	△ 6,708,030	
	支払利息	1,384,113	1,659,309	△ 275,196	
	その他のサービス活動外費用	5,881,445	6,511,135	△ 629,690	
	サービス活動外費用計(5)	7,265,558	8,170,444	△ 904,886	
	借入金利子補助金収益	57,000	76,000	△ 19,000	
	受取利息支当金収益	1,449,326	1,358,381	90,945	
施設整備等による収支	施設整備等収益	17,943,000	19,791,800	△ 1,848,800	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	施設整備等資金収入	7,200,000	7,200,000		
	施設整備等収入計(4)	25,143,000	26,991,800	△ 1,848,800	
	設備資金借入金返済	35,428,000	35,188,000	240,000	
	施設資金借入金支出し	42,383,000	39,357,246	3,035,754	
	施設資金借入金支				

# ・ありがとう・

■あざみの会  
■今井奏汰  
■(株)ウラタモータース  
■小穴菅登  
■川村都美  
■コウチウチダ伊乃  
■小西徳三  
■静岡トヨタ自動車(株)  
■清水カズ子  
■静岡県健康福祉部こども家庭課  
■鈴木尚幸

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。(敬称略)

■清都  
■出口孝夫  
■トヨタユナイテッド静岡(株)  
■行木秀和  
■(株)日本パブリックリレーションズ  
研究所  
■野村幹三郎  
■原田ややも  
■原村ゆき子  
■ピジョンホームプロダクツ(株)  
■深澤良子

■ふじ豪傑フォーラム 小林徹  
■松本珠季  
■美濃部みどり  
■村松長衛  
■ムーンバット(株)  
■室伏和徳  
■(株)山清倉庫  
■(株)龍角散  
■渡辺慎司

(R3.3/1~5/31)

## 後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費  
個人会員 1□ 1,000円  
会員  
団体会員 1□ 3,000円

振込先(郵便局振替口座)

・□座番号 00880-0-2423 ・□座名称 芙蓉会後援会

### 何口でも結構です

他の金融機関からのお振込を受け  
る際にご指定いただく口座情報  
は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行  
店名 ○八九店  
預金種目 当座  
□座番号 0 0 0 2 4 2 3  
□座名義 フヨウカイコウエンカイ

## 首安箱

### ●小学5年生男児保護者様より

内容：退所後もFFC(サッカー)を続ける事は出来ないか。

→対応：退所した子どもは、新たに家族と暮らす地域との  
つながりを最優先に考えてほしいという理由で、  
退団することをご納得いただきました。

### ●中学1年生男児保護者様より

内容：月一の外出に加えて外泊もしたい。

→対応：現在園長、担当含め検討中です。

### ●小学5年生男児保護者様より

内容：外泊は出来ないか。

→対応：面会、外出を経て進めていくと伝えさせていただきました。

### ●中学1年生女児より

内容：「キズナ無限∞の島」に参加したい。

→対応：本児の生活状況などをふまえて担当、本児で検討した  
結果、今回は見送る判断をしました。

## 編集後記



少しづつ暑くなってしまったね。水分補給を行い体調管理に気をつけていってください。

今号は新型コロナウイルスの影響で外出などの活動の制限が続いている中でのそれぞれの施設での活動を載せています。今をいかに楽しく過ごしてもらえるかを職員は考えています。

ワクチンの接種も少しづつ始まっているので、新型コロナウイルスの早い終息を願いつつ今後も工夫して退屈しない生活を送っていくようにしていきたいです。